

# 顎骨骨切り手術を受けた方およびそのご家族の方へ 【手術中及び手術後の実施データの調査研究への使用のお願い】

「顎変形手術におけるオピオイド使用量とオピオイド誘発性痛覚過敏について」

## はじめに

鳥取大学医学部附属病院麻酔科では、顎変形症手術における麻酔管理方法と術後疼痛の関連に関する研究を行う予定です。本研究は、全身麻酔下でのプロポフォール使用がオピオイド誘発性痛覚過敏（OIH）を抑制し、高用量レミフェンタニルの使用が術後疼痛に与える影響を調べることを主な目的としています。そのため、過去、顎変形症手術の際に全身麻酔による麻酔管理を実施された患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

この研究は鳥取大学医学部倫理審査委員会の承認を経て、医学部長の承認を受けています。詳細は以下のとおりです。

## 1. 研究概要および利用目的・方法

本研究では、2018年4月1日から2026年3月31日までの期間に鳥取大学医学部附属病院にて顎変形症手術（抜釘術を除く）を受けられた手術日に16歳以上の患者さんのカルテ等から情報を集めさせていただき、「顎変形症手術における麻酔管理方法と術後疼痛の関連」を調査します。本研究の目的は、全身麻酔管理下において、プロポフォールの使用がレミフェンタニルによる術後の痛みへの過敏反応（OIH）を抑制し、術後疼痛の発生にどのような影響を与えているかを明らかにすることです。

すべての情報は、鳥取大学医学部附属病院麻酔科で集計されます。また情報は、研究責任者が責任を持って保管、管理します。

本研究の対象となる患者さんは、他の研究対象者への個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書及び研究の方法についての資料を入手又は閲覧することができます。希望される方は、遠慮なく問合せ窓口にお申し出ください。

## 2. 取り扱う情報

患者さんのカルテ等の診療情報から以下の項目を集めさせていただきます。

### 【患者さんの情報】

手術日の年齢、性別、身長、体重、BMI、ASA-PS（術前における患者さんの全身状態を数値で示したもの）診断名、術式（手術の内容）、手術時間、麻酔時間、出血量、尿量、既往歴、常用薬、喫煙歴、慢性痛の有無、術中麻酔管理情報（手術中に使用した薬剤など）、術後経過及び転帰、ICU入室中の薬剤、震えの有無、術後疼痛（NRS）、術後シバリングの有無、PONV（術後悪心・嘔吐）の有無、術後の制吐薬使用回数、術後の鎮痛薬の投与量、集中治療室（ICU）入室期間、一般病棟入院期間）

## 3. 研究期間

この研究は、鳥取大学医学部長が研究の実施を許可した日から2027年12月31日まで行う予定です。

## 4. 個人情報保護の方法

患者さんの情報は、研究責任者が責任をもって保管、管理します。また、氏名、イニシ

ャル、住所、電話番号、カルテ番号などの直ちに個人を識別できる個人情報は匿名化\*され、本研究では匿名化された情報を使用します。このようにして患者さんの個人情報の管理については十分に注意を払います。

\*匿名化について：本研究にご提供いただく情報については、患者さんの氏名、住所、電話番号、カルテ番号など、患者さん個人を直ちに特定できるような情報をすべて削除し、代わりにこの研究用の登録番号をつけます。なお、研究の過程で情報がどの患者さんのものかを知る必要がある場合も想定されます。その場合に備えて、情報と患者さん個人を結びつけることのできる対応表を作成させていただきますが、この対応表は研究責任者によって鍵のかかる保管庫で厳重に管理されます。

## 5. 研究への情報提供による利益・不利益

利益・・・今回の研究に情報をご提供いただいた患者さん個人には、特に利益と考えられるようなことはございませんが、研究の成果は患者さんにとって安全かつ術後にも快適な麻酔管理方法の進歩に有益となる可能性があります。なお、情報を使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

不利益・・・カルテ等からの情報収集のみであるため、特にありません。

## 6. この研究終了後の情報の取り扱いについて

今回、集めさせていただき患者さんの情報が医学の発展に伴い、他の病気の診断や治療に新たな重要な情報をもたらす可能性があります。このため、患者さんの情報は、この研究終了後も保存させていただき、他の研究に使用させていただくことがあります。その場合は、新たに研究計画をたてて研究に参加する医療機関の倫理審査委員会での審査を経て、他の研究に使用させていただきます。

情報は、当該研究の終了について報告された日から5年を経過した日又は当該研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれか遅い日までの期間保存します。保存期間終了後は、患者さん個人を特定できない状態にして適切に廃棄します。

## 7. 研究への情報使用の取り止めについて

患者さん個人の情報を研究に用いられたくない場合には、いつでも取り止めることができます。取り止めを希望された場合でも、担当医や他の職員と気まずくなることはありませんし、何ら不利益を受けることはありませんので、下記【問い合わせ窓口】までお申し出ください。未成年者の方では、保護者の方（父母、成人の兄弟、祖父母、同居の親族などの近親者）からの研究不参加のお申し出やお問い合わせに対しても対応いたします。

取り止めの希望を受けた場合、患者さんの情報を使用することはありません。この場合には、個人を特定できない状態にして、速やかに廃棄させていただきます。

しかし、取り止めを希望した時点で、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

## 8. 当該臨床研究に係る資金源について

本研究は、鳥取大学医学部附属病院麻酔科の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

## 9. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人が特定される情報は全て削除して公表します。情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報明らかになることはありません。

## 10. 知的財産権の帰属について

本研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は鳥取大学に帰属し、あなたには帰属しません。

## 11. 問い合わせ窓口

本研究についてのご質問だけでなく、患者さんの情報が研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、患者さんの情報の使用を望まれない場合など、この研究に関することは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。

### 【研究責任者】

大槻 明広 鳥取大学医学部附属病院 麻酔科 主任診療科長  
〒683-8504 鳥取県米子市西町 36-1  
TEL：0859-38-6835

\*この研究に関する情報は、鳥取大学医学部附属病院のホームページに掲載しております。

(URL：<http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/introduction/3107/>)